

平成 25 ( 2013 ) 年度 教員活動報告書 ( 1/6 )

学部・学科	臨床心理学部・臨床心理学科	職名	教授	氏名	森 谷 寛 之
学歴	昭和45年 3月 京都大学工学部高分子化学科 卒業 昭和47年 3月 京都大学大学院工学研究科 ( 修士課程 ) 高分子化学専攻 修了 昭和50年 3月 京都大学大学院教育学研究科 ( 修士課程 ) 教育方法学専攻 修了 昭和53年 3月 京都大学大学院教育学研究科 ( 博士課程 ) 教育方法学専攻 単位取得満期退学				
学位	昭和47年 3月 工学修士 ( 京都大学 ) 昭和50年 3月 教育学修士 ( 京都大学 ) 昭和63年 7月 教育学博士 ( 京都大学 論教博第41号 )				
専門分野	臨床心理学				
専門資格	臨床心理士 ( 0523号 ) 、芸術療法士 ( 日本芸術療法学会 登録番号000011 ) 、産業精神保健専門職 ( 2003年6月 )				
所属学会	昭和48年 4月 日本教育心理学会 昭和56年 4月 日本心理学会 平成57年 4月 日本心理臨床学会 昭和58年 4月 日本学生相談学会 昭和62年 7月 日本箱庭療法学会 昭和63年 4月 日本芸術療法学会 平成 3年 4月 日本精神分析学会 平成 3年 9月 日本描画テスト・描画療法学会 平成 5年 4月 鳴門生徒指導学会 平成 5年 9月 日本行動医学会「平24.3まで」 平成 5年11月 日本産業精神保健学会 平成 8年 2月 日本内観学会 平成13年12月 日本遊戯療法学会 平成21年 8月 日本コラージュ療法学会 平成24年10月 日本理論心理学会				
受賞	昭和53年 9月 日本教育心理学会城戸奨励賞 平成18年 9月 日本芸術療法学会賞				
担当 授業科目	学 部 臨床心理学演習、臨床心理学研究法演習 ・ 、臨床心理学総合演習 ・ , 臨床心理学概論、芸術療法 大学院 臨床心理学特論A、臨床心理学特演 -AB、臨床心理学特演 -AB、心理療法特演 -B、心理療法特演 -B、心理臨床査定特演 -B、心理臨床査定特演 -B、臨床心理学研究演習I -AB・ -AB・ -AB				
論文指導	論文指導担当[主査] ( 卒論 : 6名、修士論文 : 1名、 ) 論文審査担当[副査] ( 卒論 : 18名、修士論文 : 6名、博士論文 ( 論文博士 ) : 1名、 ( 課程博士 ) 1名 )				
教育実績 ( FD 活動 )					
その他の 教育実践 活動実績					
H25 年度 研究課題	学部・大学院 ( 博士前期課程・博士後期課程 ) 共通 1. コラージュ療法の研究 2. 自殺予防についての研究 3. 臨床心理士の国家資格問題の研究 4. 九分割統合絵画法の研究				

平成 25 (2013) 年度 教員活動報告書 (2/6)

<p>平成二十五(2013)年度の研究活動の概要</p>	<p>1. 「コラージュ療法の研究」 日本コラージュ療法学会理事長として学会を運営した。年次大会企画、ワークショップ講師、シンポジストとして活動、参加した。京都文教コラージュ療法研究会を主宰し、今年度内に5回の研究会をキャンパスプラザ京都で開催した。日本臨床心理士会研修会の「コラージュ療法」講師を2回務めた。第45回日本芸術療法学会で共同発表した(森谷・服部, 於:金沢医大)。後述:(学会報告、学会活動)10.</p> <p>2. 自殺予防についての研究 文献を収集。</p> <p>3. 臨床心理士の国家資格問題の研究 日本心理学諸学会連合理事会、資格推進連絡協議会、その他の会合に参加し、討論を深めた。</p> <p>4. 九分割統合絵画法の研究 現在、著書を執筆中である。卒論や修論などでこの分野の研究の指導を行った。</p>
<p>平成二十五(2013)年度の主な研究成果等</p>	<p>(著書)</p> <p>(論文)</p> <p>(学会報告、学会活動)</p> <p>1. 日本遊戯療法学会第19回大会企画シンポジウム「遊戯療法家を育てるために」、共同、平成25年6月、日本遊戯療法学会第19回大会、京都文教大学</p> <p>2. 「コラージュ療法」、単独、平成25年6月、日本臨床心理士会研修センター</p> <p>3. Comparing Group Supervision Experience Between Beginner and Well-Experienced Clinical Psychologists in Japan.、共同、平成25年8月、Annual Convention of American Psychological Association 2013, Honolulu, Hawaii, p.292 (Poster Session 2173)</p> <p>4. ワークショップ「コラージュ療法」、単独、平成25年9月、日本描画テスト・描画療法学会大会、奈良県新公会堂</p> <p>5. ワークショップ「コラージュ療法の基礎理論」、単独、平成25年10月、日本コラージュ療法学会第5回大会、新潟清陵大学</p> <p>6. 基調講演「コラージュ療法の実践と今後の課題」、単独、平成25年10月、日本コラージュ療法学会第5回大会、新潟清陵大学</p> <p>7. 公開講演「科学史に照らした心理学の位置 2段階発達説」、単独、平成25年10月、日本理論心理学会第59回大会、京都文教大学</p> <p>8. 公開シンポジウム「心理学教育におけるカリキュラムの在り方について その心理学的考察」、共同、平成25年10月、日本理論心理学会第59回大会、京都文教大学</p> <p>9. 「コラージュ療法」、単独、平成25年11月、日本臨床心理士会研修センター</p> <p>10. 「コラージュ療法の誤解された普及過程において芸術療法学会の果たした役割」、共同、平成25年11月、第45回日本芸術療法学会、金沢医科大学 (プログラム・抄録集p.25)</p> <p>(その他、エッセイ・翻訳・学術講演等)</p> <p>1. 「大会長「ご挨拶」」、単独、平成25年6月、日本遊戯療法学会第19回大会プログラム・抄録集(p.1)</p> <p>2. 「教育現場におけるコラージュの理解と活用 第4回コラージュ療法学会大会シンポジウム」、共同、平成25年9月、コラージュ療法学研究4(1)(pp.61-72)</p> <p>3. 「指定討論「生徒指導における無意識の発見」」、単独、平成25年9月、コラージュ療法学研究4(1)(pp.70-71)</p> <p>(調査活動)</p> <p>(学外研究資金による研究活動・科学研究費補助金等含)</p> <p>(学内活動)</p> <p>心理臨床センターカウンセラー、産業メンタルヘルス研究所運営会議委員、就業力育成支援委員会委員、大学院入試委員</p>

平成 25 (2013) 年度 教員活動報告書 (3/6)

<p>平成二十五(2013)年度の社会における活動</p>	<p>(小中高との連携授業の講師) 平成25年 5月 京都文教高等学校ALP「臨床心理学とは」、於:同校</p> <p>(その他)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 日本産業精神保健学会理事「平5.9より」</li> <li>・ 京都文教コラージュ療法研究会創設主宰「平13.7より」</li> <li>・ 日本芸術療法学会理事「平15.6より」</li> <li>・ 日本遊戯療法学会常任理事「平17.7より」</li> <li>・ 日本箱庭療法学会理事「平20.3より」</li> <li>・ 日本コラージュ療法学会理事長「平20.12より」</li> <li>・ 日本遊戯療法学会第19回大会長「平25.6」</li> <li>・ 日本理論心理学会第59回大会準備委員長「平25.10」</li> </ul>
<p>平成二十一～二十四(2009～2012)年度の主な研究成果等</p>	<p>(著書)</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. 「現在の多重債務解決実務 相談のあり方から破綻業者への対応まで」、共著、平成22年11月、全国クレジット・サラ金問題対策協議会編『自殺対策を考えた多重債務者のカウンセリングのあり方』第1章 (pp.6-25)</li> <li>2. 「本当の名前は何だろう?」、共著、平成23年5月、日本評論社、飯森眞喜雄・宮川香織編、こころの科学セレクション:カウンセリングと心理療法 その微妙な関係 (pp.93-103)</li> <li>3. 「科学史における心理学の登場 近代科学誕生から400年」、共著、平成23年8月、丸善出版、日本心理臨床学会編、心理臨床学事典 (pp.4-5)</li> <li>4. 「コラージュ療法」、共著、平成23年8月、丸善出版、日本心理臨床学会編、心理臨床学事典 (pp.72-73)</li> <li>5. 『コラージュ療法実践の手引き その起源からアセスメントまで』、単著、平成24年3月、金剛出版、232p</li> </ol> <p>(論文)</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. 「シンポジストの発言3 倫理の羅針盤」、単著、平成20年4月、共著者:鶴光代・伊藤良子・蔭山英順・兒玉憲一・吉川眞理、日本心理臨床学会 心理臨床学研究26巻1号 (pp.117-122)</li> <li>2. 「心理臨床学の実践研究成果をいかに公開するか 事例研究におけるとまどい第25回大会学会企画シンポジウム(平成18年9月 関西大学)」(pp.109-124)</li> <li>3. 「「提言:医療領域に従事する『職能心理士(医療心理)』の国家資格法制の確立を」に対する意見 心理学ワールドの協力体制の構築に向けて」、単著、平成21年3月、京都文教大学心理臨床センター 臨床心理研究第11号 (pp.33-48)</li> <li>4. 「心理学界のアンブレラ」、単著、平成21年9月、日本遊戯療法学会 遊戯療法学研究第8巻第1号 (pp.86-92)</li> <li>5. 「日本コラージュ療法学会第1回大会 基調講演 コラージュ療法入門 学会発足にあたって 研究における諸段階 22年のあゆみと将来に向けて」、単著、平成22年8月、日本コラージュ療法学会 コラージュ療法学研究1(1)(pp.81-89)</li> <li>6. 「心理臨床家の国家資格への歩み 私の30年の歴史を振り返りつつ」、単著、平成23年6月、日本遊戯療法学会 遊戯療法学研究第10巻第1号 (pp.130-140)</li> <li>7. シンポジウム「いのち育むものとしてのあそび」、共著、平成23年6月、共著者:徳田仁子・安島智子・渡辺雄三・山中康裕・妙木浩之、日本遊戯療法学会 遊戯療法学研究第10巻第1号 (pp.79-103)</li> <li>8. 「コラージュ療法における間違った普及の背景について 資料「おおず講演記録(杉浦2000)」を参照にして」、共著、平成24年3月、共著者:服部令子、京都文教大学心理臨床センター 臨床心理研究第14号 (pp.15-31)</li> <li>9. 「いわゆる「同時制作法」に対する批判的考察」、共著、平成24年8月、日本コラージュ療法学会 コラージュ療法学研究3(1)(pp.69-78)</li> </ol>

平成 25 (2013) 年度 教員活動報告書 (4/6)

(論文 つづき)

10. Letter to Editor 「入江氏レターに対するコメント」、単著、平成24年9月、日本芸術療法学会誌 2011, 42 (1) (pp.102-104)
11. 「臨床心理士の国家資格を考える 現代日本における「素人による精神分析の問題」」、単著、平成24年10月、日本遊戯療法学会 遊戯療法学研究第11巻1号(pp.136-149)
12. 「心理学諸学会連合理事会に向けてのカリキュラム案についての意見」、単著、平成24年10月、日本遊戯療法学会 遊戯療法学研究第11巻1号(pp.154-157)

(学会報告、学会活動)

1. 「Introduction of a New Drawing Method in Art Therapy: Nine-in-One Drawing Method(Poster Session).」、単独、平成20年8月、American Psychological Association 116TH Convention August 14-17 2008, Convention Program p.34, Boston
2. 職能委員会企画シンポジウム「自殺対策における本学会の取り組みを考える(2) 個々の取り組みから国全体の取り組みへ」、共同、平成20年9月、共同発表者:加藤久喜・島悟・津川律子・信田さよ子・霜山孝子、日本心理臨床学会第27回大会、つくば国際会議場多目的ホール
3. 「臨床心理士と職場のメンタルヘルス活動」、単独、平成21年2月、職場のメンタルヘルス関連学会連絡会議第1回シンポジウム、東京大学鉄門記念講堂
4. 事例シンポジウム、共同、平成21年6月、第32回日本内観学会奈良大会、奈良市ならまちセンター
5. 平成21年度研修講座「学校運営のためのメンタルヘルス講座」、単独、平成21年6月、京都府総合教育センター
6. 基調講演「日本コラージュ療法学会創設にあたって」、単独、平成21年8月、日本コラージュ療法学会第1回大会、キャンパスプラザ京都
7. シンポジウム「青年期広汎性発達障害とコラージュ療法」、共同、平成21年8月、共同発表者:山上榮子・服部令子・西村喜文、日本コラージュ療法学会第1回大会、キャンパスプラザ京都
8. 職能委員会企画シンポジウム「自殺対策に対する本学会の取り組みを考える(3) 国全体のメンタルヘルスの進め方をめぐって」、共同、平成21年9月、共同発表者:霜山孝子・加藤久喜・森崎美奈子・富田拓郎・信田さよ子、日本心理臨床学会第28回秋季大会、東京国際フォーラム (発表論文集p.17)
9. 「自殺対策に対する本学会の取り組みを考える(4) 他職種との連携を視野に入れながら」、共同、平成22年9月 第29回日本心理臨床学会、東北大学
10. 小講義「カウンセリング入門 コラージュ療法を活かして」、単独、平成22年11月、第48回全国学生相談研修会、東京国際フォーラム
11. ワークショップ「コラージュ療法入門」、単独、平成23年8月、日本コラージュ療法学会第3回大会、長崎大学医学部
12. シンポジウム「子どものコラージュ療法 児童養護施設での実践」(シンポジスト) 平成23年8月、他のシンポジスト:津上佳奈美・大前玲子・西村喜文・今村友木子、日本コラージュ療法学会第3回大会、長崎大学医学部
13. 指定討論: 岡田敦「コラージュ表現における「構成」とは何か 統合失調症者の回復過程を通して」、平成23年8月、日本コラージュ療法学会第3回大会、長崎大学医学部
14. 「職能委員会企画シンポジウム「自殺対策に対する本学会の取り組みを考える(5) 自殺対策基本法制定から5年目の現在」、共同、平成23年9月、日本心理臨床学会第30回大会、福岡国際会議場
15. 職能委員会企画シンポジウム「自殺対策に対する本学会の取り組みを考える(6) 自殺予防に対する学会同士の連携に向けて」、共同、平成24年9月、日本心理臨床学会第31回大会、愛知学院大学
16. 「いわゆる「同時制作法」に対する批判的考察 「相互法」と「同時制作法」」、共同、平成24年12月、第44回日本芸術療法学会、創価大学 (発表抄録集p.39)

平成二十一年(2008)～平成二十四(2012)年度の主な研究成果等

平成 25 ( 2013 ) 年度 教員活動報告書 ( 5/6 )

( その他、エッセイ・翻訳・学術講演等 )

書評 :

1. 加藤大樹著『ブロックとコラージュの臨床心理学 体験過程と表現特徴』、単著、平成24年8月、日本コラージュ療法学会 コラージュ療法学研究3(1) ( pp.110-112 )

巻頭言 :

1. 「コラージュ療法学研究誌の創刊に当たって コラージュ療法の再出発へ向けて」、単著、平成22年8月、日本コラージュ療法学会コラージュ療法学研究1(1)(p.1)
2. 「遊戯療法のはじまり」、単著、平成24年10月、日本遊戯療法学会 遊戯療法学研究第11巻1号 ( pp.1-2 )

エッセイ :

1. 「Letter to Editor 1 コラージュ療法の起源にまつわる間違った論文記述について」、単著、平成20年9月、日本芸術療法学会誌第38巻第1号 ( pp.84-86 )
2. 「コラージュ療法の起源をめぐる諸問題 研究発表の倫理に関する議論に向けて」、単著、平成20年10月、日本遊戯療法学会 遊戯療法学研究第7巻第1号 ( pp.100-105 )
3. 「縮小版箱庭療法の試み PAC分析によるその特徴の比較 へのコメント 研究開発の長い道のりの初めに」、単著、平成21年3月、文教大学大学院人間科学研究科付属臨床相談所紀要13 ( pp.25-28 )
4. 「日本コラージュ療法学会創設にあたって」、単著、平成21年8月、「日本コラージュ療法学会」設立趣意書、日本コラージュ療法学会ニュースレター第1号 ( pp.1-2 )
5. 「学会の印象 ( 日本遊戯療法学会第15回大会 )」、単著、平成21年12月、金剛出版、精神療法第35巻第6号 ( p.825 )
6. 「もっとも遅れてきた学問『臨床心理学』 近代科学誕生から400年について思う」、単著、平成22年3月、京都精神保健福祉協会 めんたるへるす京都第38号 ( p.1 )
7. 「日本心理臨床学会「倫理公告」に添えて 許されない研究上の不正」、共著、平成22年4月、日本コラージュ療法学会ニュースレター2(pp.2-3)
8. 「青年期広汎性発達障害とコラージュ療法 日本コラージュ療法学会第1回大会シンポジウム」、共同、平成22年8月、コラージュ療法学研究1(1)(pp.90-101)
9. 「内観療法事例へのコメントと私の工夫した九分割統合絵画法」、単著、平成22年9月、日本内観学会 内観研究第16巻第1号(pp.25-27)
10. 「職能委員会報告」、単著、平成22年12月、日本心理臨床学会ニュースレター第1号(p.3)
11. 「カウンセリング入門 コラージュ療法を活かして」、単著、平成23年3月、第48回全国学生相談研修会 ( 於：東京国際フォーラム ) 報告書 ( pp.52-53 )
12. 「こんにちは研究室68 コラージュ療法で対話」、平成23年9月、京都新聞朝刊

( 調査活動 )

( 学外研究資金による研究活動・科学研究費補助金等含 )

( 学内活動 )

- 平成11年 7月 心理臨床センター運営委員「平24.3まで」
- 平成12年 4月 大学運営会議委員「平24.3まで」  
大学予算委員「平22.3まで」  
自己点検・評価委員「平24.3まで」  
危機管理委員会委員「平24.3まで」
- 平成16年 4月 大学教学会議委員「平24.3まで」  
自己点検・大学院委員会委員「平24.3まで」
- 平成17年 4月 京都文教大学臨床心理学研究科長「平24.3まで」
- 平成22年 4月 産業メンタルヘルス研究所運営委員会委員「現在に至る」
- 平成23年 4月 キャンパス・ハラスメント防止対策委員会委員「平24.3まで」
- 平成24年 4月 京都文教大学大学院入試委員「平26.3まで」

平成 25 (2013) 年度 教員活動報告書 (6/6)

平成二十 一 二 三 四 (2008～2012) 年度の 社会における活動	(自治体、行政等 官公庁からの委託事業や委員の嘱託) 平成19年 5月 京都府自殺対策連絡協議会委員「平22.4まで」
	(その他) 平成 5年 9月 日本産業精神保健学会理事「現在に至る」
	平成13年 7月 京都文教コラージュ療法研究会創設主宰「現在に至る」
	平成15年 6月 日本芸術療法学会理事「現在に至る」
	平成17年 6月 日本心理学諸学会連合理事「平24.5まで」
	平成17年 7月 日本遊戯療法学会常任理事「現在に至る」
	平成18年 5月 京都府臨床心理士会会長「平22.5まで」
	平成18年11月 日本心理臨床学会 第9期常任理事「平21.3まで」
	平成20年 3月 日本箱庭療法学会理事「現在に至る」
	平成20年12月 日本コラージュ療法学会理事長「現在に至る」
	平成21年 4月 日本心理臨床学会業務執行理事「平24.3まで」
	平成22年 4月 日本学生相談学会理事「平25.3まで」